



日本共産党 品川区議会議員 区政報告
 のだて 稔史 ニュース

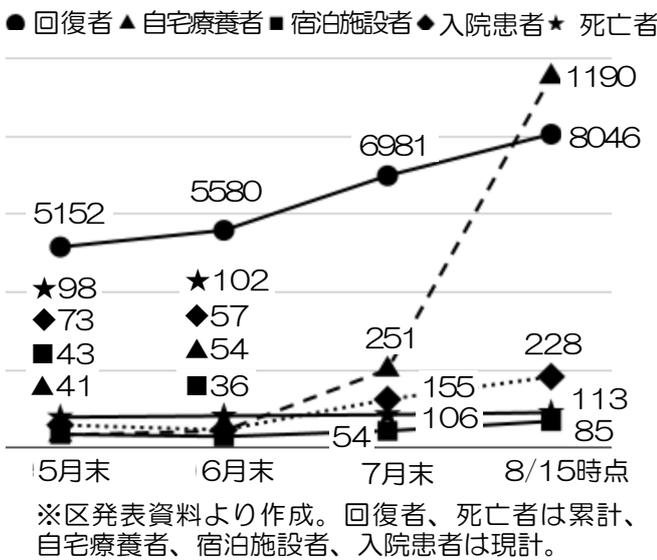
区政報告について
 ご意見やご要望を
 お寄せください。

事務所：品川区豊町6-2-1 Tel：03-3786-6674
 区議控室：品川区広町2-1-36 Tel：03-5742-6818

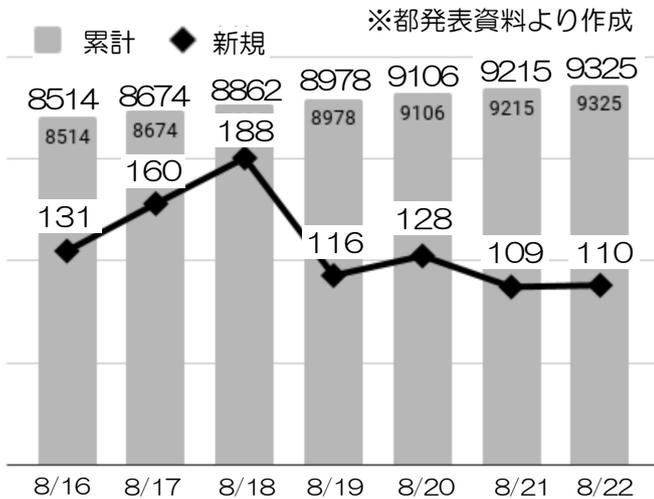
コロナ第5波 感染爆発

命を守る対策に全力を

品川区保健所の陽性者療養状態（単位：人）



品川区在住の陽性者数（単位：人）



臨時の医療施設を

感染爆発により重症者が増え続け医療が崩壊しています。既に助けられるはずの命が助けられない状況になっており、区の死亡者も半月で先

月を超えています（左図）。自宅療養者は区内でも急増し8月15日には1190人（左図）、区議会厚生委員会では17日時点で1300人を超えたと説明がありました。入院できない人がほとんどです。コロナは病状が急変し、在宅で亡くなる事例も報告されています。こうした痛ましい出来事が起きないよう必要な医療が提供できる臨時の医療施設を作ることが早急に必要です。ウラへ続く

都内では新規感染者が連日のように5000人を超えています。コロナ感染第5波が過去最悪の事態になってしまったのはコロナ対策に無為無策、逆行を続けてきた菅政権による人災です。品川区でも深刻です。

コロナは病状が急変し、在宅で亡くなる事例も報告されています。こうした痛ましい出来事が起きないよう必要な医療が提供できる臨時の医療施設を作ることが早急に必要です。ウラへ続く

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、36歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。シブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

ワクチン不足の今こそ 大規模検査の実施を

政府がコロナ対策の要としてきたワクチンが足りていません。品川区でも国からの供給量が減少し予約停止に追い込まれています。集団接種は度々新規予約が停止されており、再開された8月23日は午前11時30分に枠が埋まってしまいました。次回の再開は9月6日(月)です。このため若い人ほど接種が進んでいません(下図)。

政府はワクチンの安定供給に責任を果たすべきです。

ワクチン不足の今こそPCR検査等の抜本的拡充で無症状者を把握・保護し、感染の連鎖を断つことが必要です。

品川区でも保育園3園で10人以上が感染。園児とともに多くの職員が感染したため、運営

に支障をきたし休園しました。

これまで品川区は共産党が提案しても保育園や学校等での定期的検査を拒み続けてきました。自公なども区と同じ姿勢でした。

こうした感染リスクの高い施設で定期的な検査をすることが今急増している子どもへの感染拡大防止にもなります。

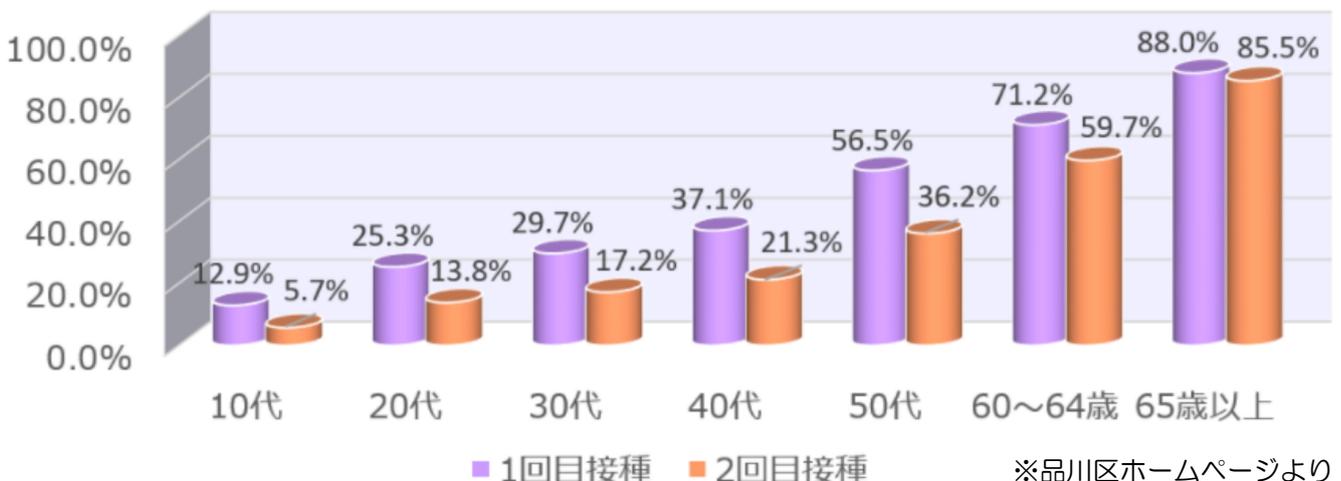
また検査体制を抜本的に強化し、いつでも、どこでも、誰でも、無料で検査が受けられるようにすべきです。

パラリンピックは中止を

緊急事態宣言が発出される一方で、世界的な祭典であるパラリンピックを強行したことが矛盾したメッセージとなり、感染抑止への重大な障害になっています。

パラリンピックは中止しコロナ対策に力を集中すべきです。

品川区の年代別コロナワクチン接種率 (8月23日現在)



無料
法律相談

9月14日(火) 午後6時~8時

会場：のだて稔史事務所 豊町6-2-1

お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒にお話を伺います。

できるだけ事前にご連絡下さい。Tel 3786-6674

日本共産党